vo.1

目的別チュートリアル

目次

注意事項

■ DVD+R、DVD-R メディアについて

DVD+R、DVD-Rメディアには1層（4.7GB）タイプのものと、2層(8.5GB)タイプのものがあります。本チュートリアルで、「DVD+R メディア」「DVD-R メディア」とだけ表記した場合は、1 層メディア / 2 層メディアの両方が使用可能となります。

■ DVD+R、DVD-R メディアについて

「DLA」は、DVD-RAM、DVD ± R、DVD ± RW、CD-R、CD-RW で使用することができます。
「DLA」は、他社製のパケットライティングソフトと同時には使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合は、そのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。
また、Windows XP でエクスプローラ上の書き込み機能を使用する場合は「DLA」をインストールしないでください。この 2 つの機能も、重複して使用することはできません。

■コピープロテクトされたディスクについて

付属ソフトウェアは、CSS や CPRM などのコピープロテクトがかけられたディスクには対応しておりません。一般にコピープロテクトを解除することは法律で禁じられております。

マイコンピュータやエクスプローラ上で､ファイルのコピーを行う

概要

未フォーマットのメディアをフォーマットして､マイコンピュータやエクスプローラ上で､データをドラッグ＆ドロップするだけでコピーできるようにします。

●使用するソフトウェア：DLA

●使用するメディア

DVD-RAM、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW

手順

１.対象となるメディアを、ドライブにセットします。

２.エクスプローラ又はマイコンピュータ上の、ドライブレターアイコンを右クリックして表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。

３.表示されるウィンドウの指示に従って、メディアのフォーマットを行ってください。

※ フォーマット後は、マイコンピュータやエクスプローラ上で、ドラッグ＆ドロップだけでファイルのコピーを行うことができます。

暗号化ディスクを作成する

概要

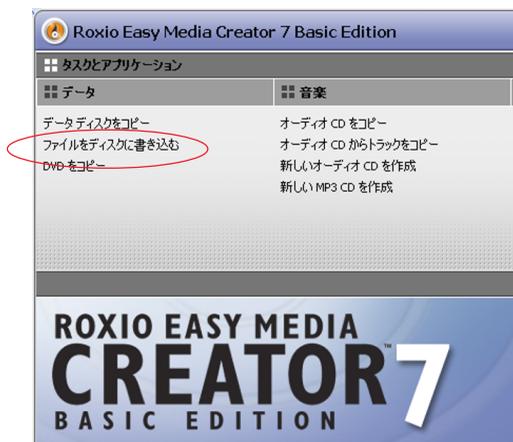
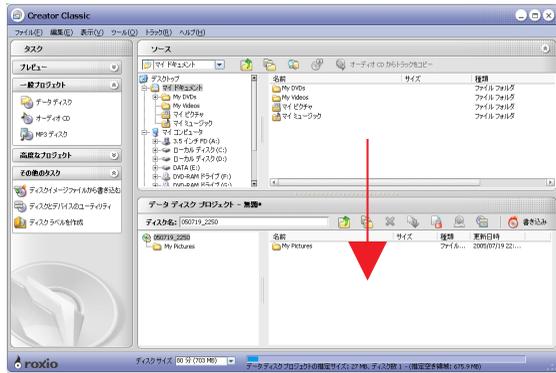
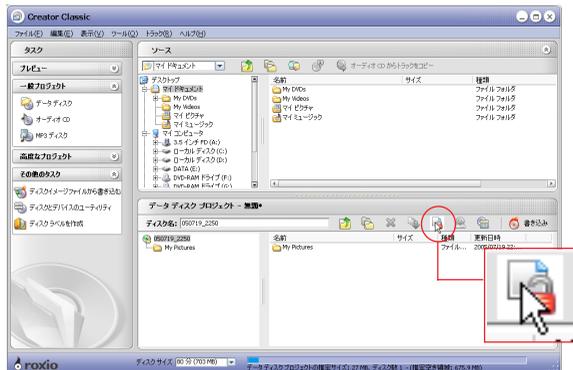
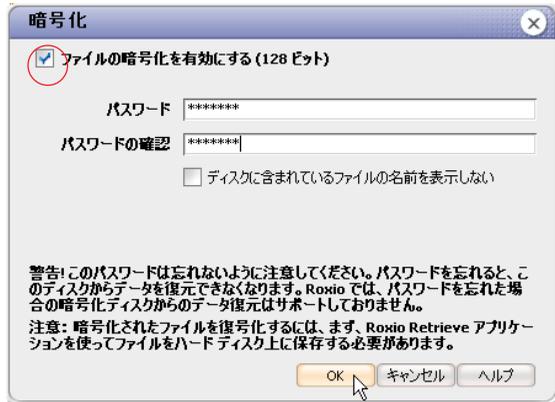
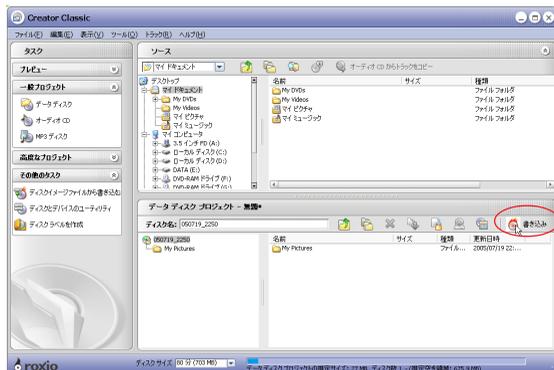
パスワード保護された、暗号化ディスクの作成が可能です。
他人に見られたくない機密情報などを､暗号化ディスクとして保存して おけば、万一の紛失の際にも安心です。

●使用するソフトウェア：Easy Media Creator

●使用するメディア
DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW

手順

1．インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、Easy Media Creator を起動してください。

2．起動画面で「データ」内の「ファイルをディスクに書き込む」をクリックして、「Creator Classic」を起動します。

3．Creator Classic のメインウィンドウが表示されますので、ソースエリアから保存したいファイル/フォルダを、「データディスクプロジェクト」へドラッグ＆ドロップしてください。

4．「データディスクプロジェクト」エリアの「プロジェクトの暗号化設定を設定」アイコンをクリックします。

5．下記のウィンドウが表示されます。
「ファイルの暗号化を有効にする（128ビット）」のチェックを入れ、パスワードを入力し「OK」ボタンをクリックします。

6．書き込みボタンををクリックします。

7．下記のウィンドウが表示されますので、「ターゲットデバイス：MATSHITA SW-9587S」が表示されていることを確認しメディアをセットします。「書き込み」ボタンをクリックすると、暗号化したデータをディスクに書き込みます。

8．書き込み作業が終了すると、下記のウィンドウが表示されますので「閉じる」ボタンをクリックします。
以上で作業は終了です。

動画ファイルから DVD ビデオを作る
（一枚のディスクにピッタリ納める：Fit-to-DVD 機能）

概要

事前に作成した動画ファイルを元に、DVD ビデオを作ります。

また、一枚のディスクにピッタリに納める「Fit-to-DVD 機能」の設定方法も、解説します。
例えば「できるだけ高画質な DVD ビデオにしたいのだけれど、高画質設定のままでは容量が足りない」といった状況の時に便利です。

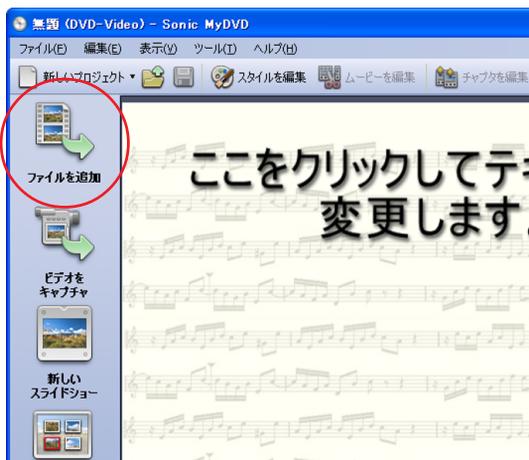
●使用するソフトウェア：MyDVD LE

●本製品の他に必要なもの
- パソコン
- DVD -R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW メディア
- 映像ファイル（MPEG2、DV AVI ファイルなど）

手順

1．インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、MyDVDLEを起動してください。

2．起動画面で「新しいプロジェクト」を選択して、「DVD-Video」をクリックします。

3．ウィンドウが表示されますので、「ファイルを追加」をクリックしてファイルを選択するか、マイコンピュータやエクスプローラ上から、DVD ビデオとして保存するファイルをドラッグ＆ドロップしてください。

４.メニューのタイトルエリアをクリックし、メニュータイトルを入力してください。

ポイント：Fit-to-DVD 機能

一枚の DVD ディスクに、ビデオの画質等を調整しながらピッタリと納めることができる「Fit-to-DVD」機能を利用することができます。

ウィンドウ左下の品質メニューから「Fit-to-DVD」を選択してください。

ポイント：

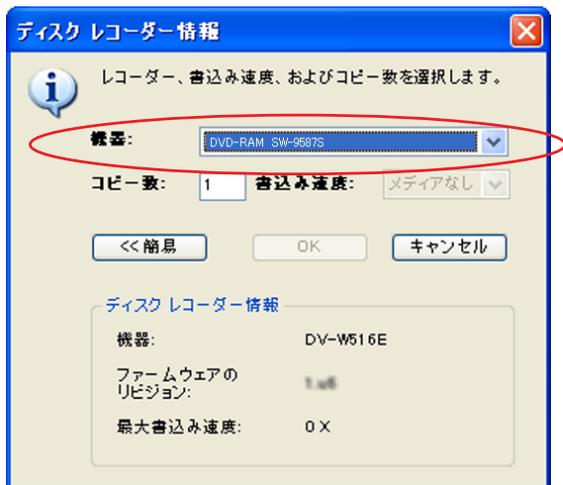
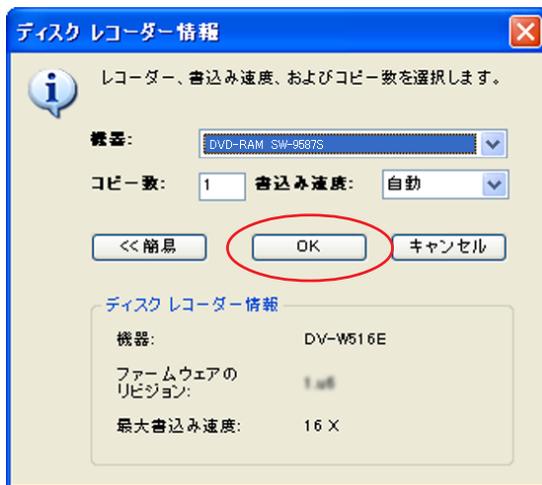
ウィンドウ右上の「プロジェクト タスク」内の「スタイルを編集」をクリックすると、下記の画面が表示されます。

この画面では、DVDビデオの構成に関わる、下記の設定を行うことができます。

主な設定としては、下記となります。（下記以外の項目については、MyDVD LEのヘルプを参照してください。）

- メニューのスタイルを選択することができます。
  標準で持っているメニューのスタイルから、お好みのメニューを選択することができます。
  モーションメニューの標準スタイルも用意してあります。
- メニュータイトルのテキストのスタイルを変更することができます。
  フォントの種類、サイズ、色などを選択できます。
- 映像の再生方法を選択することができます。
  全ての映像を再生した後でメニューに戻るのか、各映像を再生した後に必ずメニューに戻るのかを選択できます。
- ファーストプレイ
  ディスクを再生した際、メニューを表示する前に映像を直接再生することができます。

5．「書き込み」ボタンをクリックしてください。

6．下記のウィンドウが表示されますので、「機器：」に「DVD-RAM SW-9587S」が選択されていることを確認してください。選択されていない場合は、メニューをクリックして選択してください。

7.ドライブに書き込みを行うメディアをセットしてください。「OK」ボタンが選択可能となりますので、クリックしてください。書き込み作業が開始されます。

ポイント：

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

8.書込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。

以上で作業は終了です。

DV カメラのダビング

概要

DV カメラの映像を、DVD ビデオとして DVD-R、DVD+R メディアへそのまま記録（保存）します。
※本章では、DV カメラをパソコンの IEEE1394（FireWire/iLINK）ポートに接続した場合の説明を行います。DV カメラは、多くの場合 IEEE1394 ポートを使用します。詳しくは、ご使用の DV カメラの取扱説明書をご参照ください。

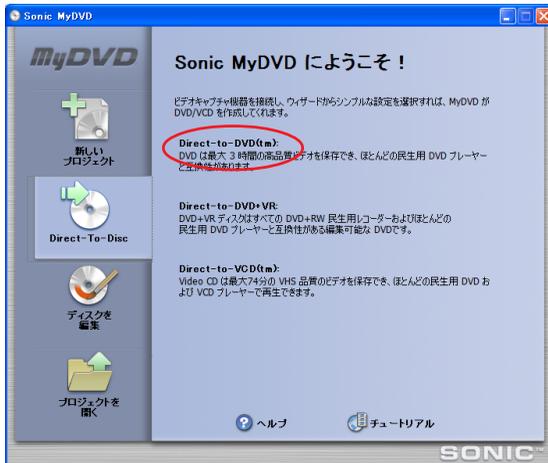
●使用するソフトウェア：MyDVD LE

●本製品の他に必要なもの
- IEEE1394 ポートが搭載されているパソコン
- DV カメラと、映像が記録済みの DV テープ
- IEEE1394 ケーブル
- DVD-R または、DVD+R メディア

手順

1．パソコン及び DV カメラの電源をいれ、DV カメラに DVD ビデオとして録画するテープをセットし、パソコンに接続します。（DV カメラの電源は「ビデオ（既に録画済みの映像を再生する）」モードに設定する必要があります。

2．インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、MyDVD LE を起動してください。

3．起動画面で「Direct-to-Disc」を選択して、「Direct-to-DVD」をクリックします。

4．ウィザード画面が表示されますので、記録する映像に合わせたメニューを「メニュースタイルを選択」で選択し、プロジェクト名を「プロジェクト名を選択」で入力し（メニューのタイトルになります）、DVD にレコーディングが選択され、「機器：」に「DVD-RAM SW-9587S」が選択されていることを確認し、ドライブにメディアをセットします。

ポイント：

「プロジェクト名を選択」と「機器」の確認は必須となります。

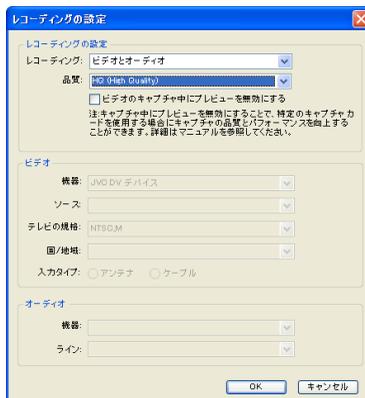
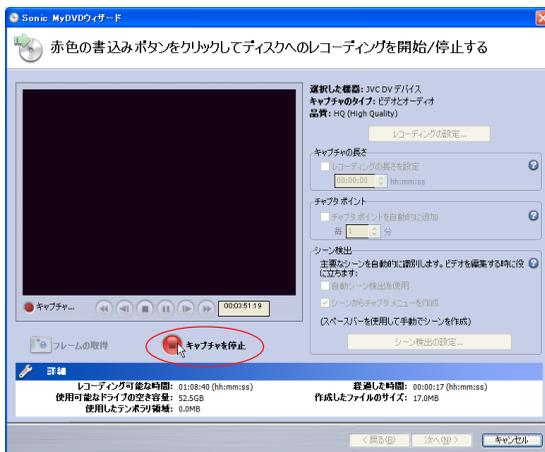
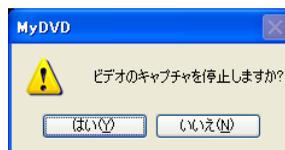
５.「次へ」ボタンをクリックします。

６.「キャプチャを開始」ボタンをクリックすると、DV カメラが自動的に再生を始め、映像を取り込みます。

ポイント：

DVカメラのテープを、DVDビデオとして記録するシーンの先頭にしておく必要があります。テープの再生位置がずれている場合には、プレビュー画面下のコントロールボタンを使用して、DVテープの位置を調整することができます。

ポイント：

「レコーディングの設定 ...」ボタンをクリックすると、右のウィンドウが表示されます。
画像品質の設定を行うことができます。60分のDVテープ一本であれば、「HQ(High Quality)」を選択してください。

7 .DVDビデオとして記録するシーンが終了したら､｢キャプチャを停止｣ボタンをクリックしてください｡

8 . 下記のウィンドウが表示されますので､｢はい｣ボタンをクリックします｡DV カメラの再生が停止し､DVD メディアへの書き込みを行います｡

9 . ディスクへの書き込み作業を行います｡

１０ . ｢下記のウィンドウが表示されれば､作業は終了となります｡

DVD レコーダーで録画した映像を DVD ビデオに変換

概要

DVD レコーダで録画映像を、DVD プレーヤーでの再生互換率の高い DVD ビデオへと変換することができます。

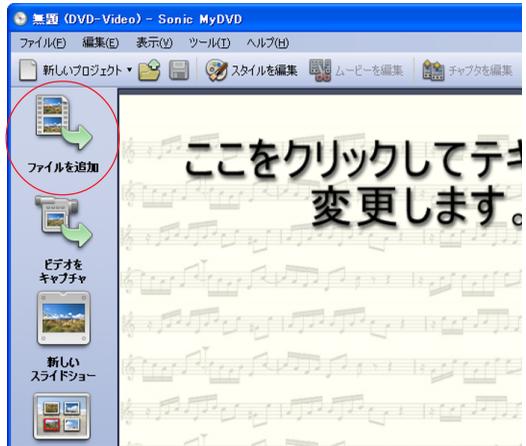
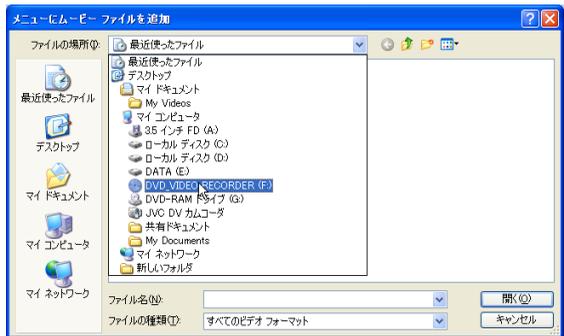
●使用するソフトウェア：MyDVD LE

●本製品の他に必要なもの
・DVD レコーダで録画されたディスク（DVD-RAM、DVD-RW）

手順

1．インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、MyDVD LE を起動してください。

2．起動画面で「新しいプロジェクト」を選択して、「DVD-Video」をクリックします。

3．ウィンドウが表示されますので、DVD レコーダで録画したディスクをドライブにセットし「ファイルを追加」をクリックしてください。

4．「メニューにムービーファイルを追加」ウィンドウが表示されますので、レコーダーのディスクを選択してください。

5．レコーダーで録画したディスクとして認識され、下記のウィンドウが表示されますので、DVD ビデオに変換する映像をチェックし、「インポート」ボタンをクリックします。

6．メニューに映像がインポートされます。以降の作業は「動画ファイルから DVD ビデオを作る」の４番以降と同じになりますの、そちらを参照願います。

2 層 DVD ビデオを一枚の DVD に収める

概要

2 層 DVD ビデオのデータを、1 層 DVD に収められるよう、再トランスコードして書き込みを行います。

●使用するソフトウェア：Disc Copier（Easy Media Creator）

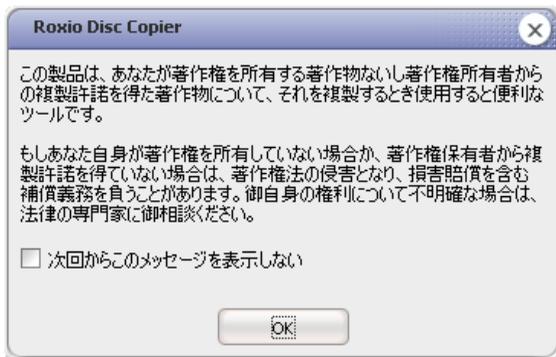
●使用するメディア
DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW

手順

1 . インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、Easy Media Creator を起動してください。

2 . 起動画面で「データ」内の「DVD をコピー」をクリックして、「Disc Copier」を起動します。

ポイント：

下記のウィンドウが表示されますので、記載内容をご熟読の上「OK」ボタンをクリックしてください。

3．Disc Copier が表示されます。コピー先に「MATSHITA DVD-RAM SW-9587S」が選択されていることを確認し、「詳細 >>」ボタンをクリックしてください。

4．下記のウィンドウに切り替わりますので、コピー元では「ディスクイメージまたは DVD-Video フォルダ」を選択し、「選択」ボタンをクリックします。

５.下記のウィンドウが表示されます。書き込みを行う DVD ビデオ　フォルダを選択し「OK」ボタンをクリックします。

６.ドライブにメディアをセットし、書き込みボタンををクリックします。

７.再トランスコードを行い、メディアへの書き込みを行います。

８.以上で作業は終了です。

DVD-RAM メディア内のファイルやフォルダを暗号化したい

使用するソフトウェア：

「B's File Guard」

B's File Guard

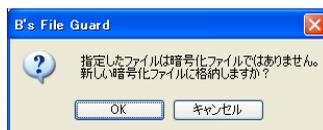
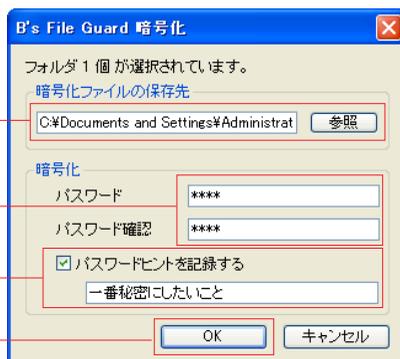
B's File Guard は、簡単な操作でファイルやフォルダを暗号化して、第３者に読み取られないようにするソフトウェアです。

使い方について

1. 暗号化ファイルの作成

① DVD-RAM 内の、暗号化したいファイルやフォルダを選択し、右クリックして、表示されるメニューから「B's File Guard 暗号化」を選択します。

※ 複数のファイルを選択することも可能です。

② 右のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

③ 暗号化設定画面が表示されます。必要な設定を行い、「OK」ボタンをクリックしてください。

「暗号化ファイルの保存先」

何も指定しない場合、通常は元のファイル / フォルダと同一ディレクトリが選択されます。「参照」ボタンを使用して、保存先のディレクトリを指定することもできます。

「パスワード」、「パスワードの確認」

半角で 32 文字までの範囲でパスワードを設定できます。
確認のため「パスワードの確認」にもう一度パスワードを入力します。

「パスワードにヒントを記録する」

パスワードを忘れたときのために、半角 64 文字、全角 32 文字以内でヒントを設定できます。

④ 暗号化が実行されると、右のような暗号ファイルが作成されます。

暗号化ファイルの元になったファイルは元の場所に残っています。完全に削除する場合は必要に応じてご自身で削除してください。ただし、削除後に暗号化ファイルのパスワードを忘れると、二度とそのデータにアクセスできなくなりますので十分ご注意ください。

2. 暗号化ファイルへのアクセス

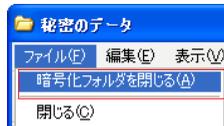
暗号化ファイルへアクセスするには、以下の手順をご参照ください。

① 作成した暗号化ファイルをダブルクリックします。

② 以下のパスワード入力ウィンドウが表示されますので、暗号化ファイル作成時に設定したパスワードを入力して「解除」ボタンをクリックしてください。

③ パスワードが解除されると、フォルダの中身が参照できるようになります。

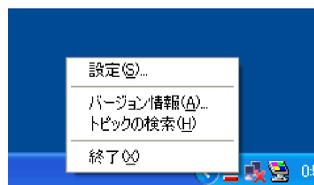
注意事項

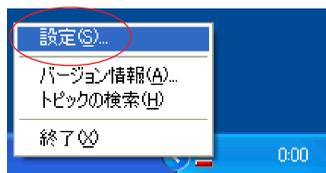
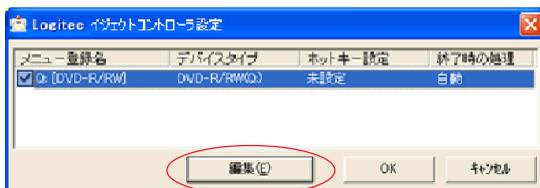
- 暗号化フォルダ内のファイルは、内容の変更ができません。
- 暗号化したファイルを編集する場合は、暗号化フォルダ内からファイルをコピーして、編集後再度暗号化を行ってください。
  なお、作業ディレクトリ内でファイル編集を行った場合は、Windows のログオフ時に自動的に消去されますのでご注意ください。
- 暗号化フォルダはパスワード認証後も「暗号化フォルダを閉じる」を使用して、再びロックをかけることができます。
  「閉じる」メニューやクローズボックスから終了した場合、Windows 起動中はパスワードが解除されたままとなります。

Windows システム終了時に、自動的にディスクを排出する

概要

Logitec イジェクトコントローラで設定を行なうと、システム終了時に自動的にディスクの排出を行なうことができます。

手順

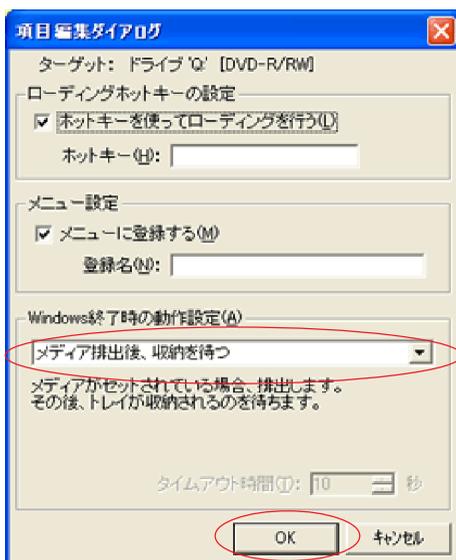
1 . システムトレイに登録されている「Logitec イジェクト コントローラ」のアイコンを右クリックしてメニューを開きます。

※アイコンが表示されない場合は、「スタート」-「プログラム」(Windows XP では「すべてのプログラム」) -「Logitec」-「イジェクトコントローラ」-「Logitec イジェクトコントローラ」と選択すると起動します。

2 . 「設定」を選択します。

3 . 「Logitec イジェクトコントローラ設定」ダイアログが開きます。一覧リストから目的の DVD ユニットを選択して「編集」ボタンをクリックします。

4．「項目編集ダイアログ」が開きます。ここで、「Windows 終了時の動作設定」を以下の中から設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

・メディア排出
　トレイを排出します。
　DVD ユニットの電源が OFF になると、トレイを収納できなくなるので注意が必要です。

・メディア排出後、収納を待つ
　トレイ排出後、収納されるまでシステムの終了処理を中断します。
　トレイが収納されるまでシステムは終了されません。

・メディア排出後、収納を待つ（タイムアウトあり）
　トレイ排出後、収納されるまで待ちますが、「タイムアウト時間」に設定された秒数が経過すると自動的にトレイを収納してシステムの終了処理を継続します。

※ 操作しないを選択すると、Windows 終了時にトレイにメディアが残っていても、特に処理を行いません。

使用可能なメディアとサポート形式

メディア	サポート形式	ソフトウェア名				
		Easy Media Creator	RecordNow!	DLA	MyDVD LE	CinePlayer
DVD+R	UDF	ライト		ライト/リード		
	UDF Bridge	ライト	ライト			
	DVD-Video				作成	リード
DVD+RW	UDF	ライト		ライト/リード		
	UDF Bridge	ライト	ライト			
	DVD-Video				作成	リード
	DVD+VR				作成/編集	リード
DVD-R	UDF	ライト		ライト/リード		
	UDF Bridge	ライト	ライト			
	DVD-Video				作成	リード
DVD-RW	UDF	ライト		ライト/リード		
	UDF Bridge	ライト	ライト			
	DVD-Video				作成	リード
	DVD-VR				作成/編集	リード
DVD-RAM	DVD-VR				作成/編集	リード
	UDF	ライト		ライト/リード		
CD-R	UDF			ライト/リード		
	データCD (ISO9660)	ライト	ライト			
	音楽CD	ライト	ライト			
	Video CD				作成	リード
CD-RW	UDF			ライト/リード		
	データCD (ISO9660)	ライト	ライト			
	音楽CD	ライト	ライト			
	Video CD				作成	リード

*1
上の表は、ソフトウェア側の対応について記しています。それぞれのメディアに対してドライブ側が対応していなければ、書き込みは行えません。

*2
本製品と MyDVD LE **の組み合わせで作成した** DVD **フォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠**DVD-RAM**メディアは**DVD-RAM**再生とビデオレコーディング規格に対応した**DVD**プレーヤーや** DVD **ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使用すると、**DVD-RAM **再生に対応した** DVD-ROM **ドライブや** DVD-RAM **ドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での再生を保証するものではありません。**

*3
本製品とMyDVD LEの組み合わせで作成したDVD-R（for General）、DVD-RWメディアは、DVDフォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW再生に対応したDVDプレーヤーで再生できます。また、DVDビデオ再生のアプリケーションソフトを使用すれば、DVD-RAMドライブや、DVD-ROMドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での動作を保証するものではありません。

*4
本製品とDLAとの組み合わせで記録したDVD-RAMメディアは、それ以降読み出し専用のメディアとなり、ファイルやフォルダの追加・削除・移動・ファイル名変更・ボリューム名変更等のディスクへの書き込みを伴う処理が一切できなくなります。再度そのRAMメディアにデータを記録したいときは、物理フォーマットを実行してください。

各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法

■ Easy Media Creator Basic Data Edition

各アプリケーションを起動し、ヘルプメニュー内にある「ヘルプ センター」を起動してください。

■ CinePlayer

「スタート」→「プログラム」（Windows XP **の場合は「すべてのプログラム」）→「**Sonic**」→「**ConePlayer**」→「ドキュメント」→「ヘルプ」**

■ RecordNow!

「スタート」→「プログラム」（Windows XP **の場合は「すべてのプログラム」）→「**Sonic**」→「**RecordNow!**」→「**RecordNow! **ヘルプ」**

■ MyDVD LE

MyDVD LE**を起動し、初期画面下に表示される「ヘルプ」または「チュートリアル」を参照してください。**

■ DLA

「スタート」→「プログラム」（Windows XP **の場合は「すべてのプログラム」）→「**Sonic**」→「**DLA**」→「**DLA **ヘルプ」**

■ B's File Guard

「スタート」－「（すべての）プログラム」－「B.H.A**」－「**B's File Guard**」－「ユーザーズマニュアル」を選択してください。**

■ Logitec **イジェクト コントローラ**

ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「トピックの検索」を実行してください。